

こちらに掲載しきれないイベントやニュースは  
市ホームページ「すながわ TOPICS」で紹介中！

すながわトピックス

検索

▼日常の中でも手洗いや換気などをしっかり行いましょう



## 新型コロナウイルス感染症の早期終息を目指して 砂川を守るための18の目標を制定

青年会議所が新型コロナウイルス感染症の早期終息を目指すための啓発チラシを作成し、5月8日(金)に平尾理事長(写真右)と櫻井副理事長が市長室を訪れました。チラシには「砂川を守るための18の目標」として「手洗い」や「地元企業を応援しよう」などがイラスト付きで紹介されており、平尾理事長は「新聞折込のチラシを掲示してもらい、早期終息に向けて一助になれば」と述べました。

## ラベンダー畑の再生を願う

紫色のじゅうたんに思いを寄せて

5月16日(土)、黒瀬ラベンダー園にて、ラベンダー苗の植え替えや除草を行いました。ボランティアには15人ほどが集まり、お互いに距離を取りながら作業をしていました。昨年、一昨年と植えた苗も成長しており、鮮やかな紫色に戻るのが待ち遠しいですね。次回は6月13日(土)の午前10時から行う予定ですので、皆さんもボランティアとして参加してみませんか。

▼多くの雑草に悪戦苦闘しながらもきれいになりました

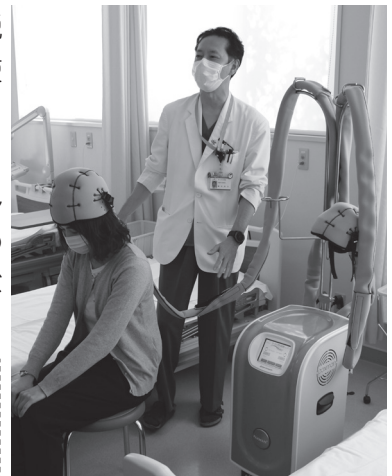


## 抗がん剤治療による脱毛を抑制する 頭皮冷却システム 道内初導入

市立病院では5月14日(休)から、乳がん患者の抗がん剤治療による脱毛を頭皮冷却により抑制する医療機器が道内で初めて導入されました。乳がん患者の3～4割の方が再発予防のために抗がん剤治療を行います。抗がん剤治療の副作用として毛包(毛の根本)が損傷し、脱毛が引き起こされます。この副作用は抗がん剤治療を行う患者のほぼ全員に表れるもので、患者にとって大きな精神的ダメージとなります。

この装置を使用すると毛包への血流が減少し、脱毛を予防または最小限に抑えることが可能で、手術前後の抗がん剤治療を行う患者の約3割の方がウィッグを使わなくてもよい程度に脱毛を抑えることができるとされています。また、ウィッグが必要な場合でも使用期間が短くなり、患者の精神的ダメージを軽減できると期待されています。

今回の装置の導入について市立病院乳腺外科部長の細田充主<sup>みつちか</sup>医師(写真右)は「『脱毛はしかたがない』と諦めながら抗がん剤治療を行っている患者さんの精神的な負担を軽減し、治療に前向きになってくれればと思います。導入を決めました。他の科との横断的な使用や、台数を増やすことも検討中です」と述べました。



▶髪の毛を濡らし、トリートメントを付けた状態でキャップとキャップカバーを装着します。冷却装置の内部に入っている冷却水をキャップに循環させることで、継続的に頭皮の温度を約19℃に冷却します。抗がん剤投与30分前から投与後90分までの約3～4時間使用します。